

第26回数理科学コンクール

数理科学コンクールとは、千葉大学先進科学センター主催で、水の惑星にどんな波が起こるか？丈夫な家に柱は何本必要か？など、現象を物理や数学を使って解明するコンクールです。実験や模型作りで試すなど、自由な発想で楽しみながら挑戦していきます。課題の部は7月17日(月)、遠隔の部とロボットの部は7月16日(日)～17日(月)に開催され、本校からは課題の部に普通科・理数科合わせて34名(3年生3名、2年生8名、1年生23名)が参加しました。この数年間はコロナ禍の影響で、自宅に実験キットが送られてきて各自実験し、分析・考察する形式でしたが、今回から千葉大学での対面形式が復活しました。1～3名のグループ対抗戦で、どの問題に挑戦するか、どのような実験をしてデータを集めるか、集めたデータをどう処理するかなど、各グループ作戦を立てるところから始まり、6時間にも及ぶ実験と分析の結果をレポートにまとめて提出しました。千葉大学の博士課程の方とも一緒に実験することができ、貴重な体験をすることができました。コンクール終了後には、今回の内容を来年度からの課題研究のテーマにしたいと話す生徒もいました。写真は、①～②は3年生、③～④は2年生、⑤～⑧は1年生が実験を行っている様子です。(事務局の許可を得て撮影しています。)

8月27日(日)には今年度から新設された人工知能の部が開催されます。遠隔で実施され、Wolfram 言語を用いてデータの分類や解析を行い、その結果を考察するという内容のようです。本校からは理数科の4名(2年生3名、1年生1名)が参加します。すべての部の結果は秋～冬頃の表彰式で発表されます。



↑写真① ↓写真②



↑写真③ ↓写真④



↑写真⑤ ↓写真⑥



↑写真⑦ ↓写真⑧



SSH 活動掲示板は
こちら→



これまでの SSH 通信は
こちら→

